道徳教育全体計画

教育基本法,
学校教育法等
関係法規

学校教育目標
志高く　未来を拓く　児童生徒の育成
ふるさとに学び，ともに学び続ける
たくましい児童の育成

児童の実態
家庭・地域の願い

道徳教育の重点目標
郷土の伝統と文化を大切にし，郷土を愛する心をもった児童を育てる。

低学年の重点主題

○自分の住んでいる町に愛着をもち，親しみをもって生活できるようにする。

中学年の重点主題

○地域の行事や活動等に興味をもち，積極的に関わろうとする態度を育てる。

高学年の重点主題

○郷土の伝統や文化を発展させた先人の努力を知り，自分もそれを受け継いでいこうとする心情を育てる。

【各教科】
基礎基本を身につけ，自ら課題意識をもって主体的に学習に取り組む態度を育てる。
考えを伝え合い，学び合う力を育てる。
体験的な活動を通して，自分で考え主体的に行動する力を育てる。

⇔

【特別の教科道徳】
道徳教育の要とし，児童がねらいとする道徳的価値を自分の課題として受け止め，豊かに感じ生き生きと表現し合う「学び合い」を通して，よりよく生きようとする意欲を自ら育む時間とする。

・資料の選択・活用の吟味
・資料提示の工夫
・体験活動・ふるさと学習とのかかわり
・ゲストティーチャーの活用等指導方法の工夫

⇔

【学級活動】
学級生活の充実と向上にかかわる活動を通して，進んで問題を解決し，温かい人間関係を築こうとする態度と集団の中で自己を正しく生かす能力や態度の育成を図る。

【総合的な学習の時間】
社会的な問題や身近な課題に主体的な関心をもたせ，自己の生き方を考え，自らの生活を切り拓く力を育てる。

【家庭・地域との連携】
学校と家庭が連携し，常に同じ教育的指標で児童にかかわれるようにする。
保護者･地域の人々の積極的な参加・協力を得る。
※　道徳の授業を年１回以上公開

【他校との連携】

【児童会活動】
児童の意見，発想を大切にして，学校生活における諸問題の解決を図ることにより，自主的・実践的な態度や協力性，思いやりの心を育てる。

【学校行事】
体験的活動を通して集団への所属感・連帯感を深め，協力性，責任感，勤労意欲等内容項目との関連を明らかにし道徳性の育成をはかる。

【キャリア教育との関連】
相手の立場に立ってお互いに助け合おうする態度，働くことの大切さを知り，公共のために役立とうとする態度，目標に向かって努力する態度を育てる。